

事業用大規模建築物における再利用計画書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

文京区長 殿



建築物名称 **〇×△株式会社 □□□ビル**
建築物所在地 **文京区春日〇-〇-〇**
所有者住所 **文京区後楽〇-〇-〇**
所有者氏名 **〇×△株式会社 文京 太郎**
(法人にあつては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名)



文京区廃棄物の処理及び再利用に関する条例第19条第3項の規定により、事業用大規模建築物における
令和〇〇年度の再利用計画書を以下のとおり提出します。

建 築 物 の 属 性			
地上 10 階 地下 1 階 事業用途延べ床面積 5,300 m ²		建築物の用途	
複数の建築物を一括して提出する場合の建築物名称等 (対象建築物が単独の場合、この欄には記入しない。)		事務所	8 社 4,500 m ²
		店舗(飲食店を除く)	店 m ²
建築物名称		飲食店・ホテル・式場	店 m ²
建築物所在地		工場・研究施設	所 m ²
階数(地上・地下)	地上 階 ・ 地下 階	倉庫・流通センター	所 m ²
事業用延べ床面積	m ²	医療機関	所 m ²
当該建築物を使用している事業者の名称(別紙添付可)		その他()	m ²
在館人員 従業員 600 人 計 (テナント従業員を含む)	外来者 500 人 (通学者を含む) 1,100 人	住宅	世帯 m ²
		共用部分	800 m ²
			計 5,300 m ²
廃棄物の種類	廃棄物収集運搬業者	許可番号	持込先
一般廃棄物	□□□興業株式会社	〇〇〇〇	23区清掃工場
産業廃棄物	□□□興業株式会社	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	□□□興業(株)
再生資源の種類	再 生 資 源 回 収 業 者	持込先	
紙類(コピー・OA紙)	□□□興業株式会社	◎□製紙(株)	
新聞・雑誌	△△商店(有)	×△製紙(株)	
ダンボール	△△商店(有)	×△製紙(株)	
瓶・かん・ペットボトル	××サービス株式会社	△□サービス(株)	
機密書類	□□□興業株式会社	◎◎製紙(株)	
今 年 度 の 目 標		廃 棄 物 管 理 責 任 者	
1.今年度計画と前年度実績を比較して増減した理由 文京区の立入調査で指摘された、可燃ごみに混入していた再利用可能紙を減らす努力をした結果、大幅に資源へ移行できた。		選任日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
		講習会受講日	年 月 日
		会社名	〇×△株式会社
		所在地〒	〒112-0003 文京区春日〇-〇-〇
		所属名・職名	総務部総務課長
		氏名・ふりがな	後楽 二郎
		電話番号	××-1234-5678
2.ごみ減量及び再利用についての今年度の目標 前年の結果を踏まえ、対前年度10%の減を目標とする。			
3.今後の具体的取組について 各階の廃棄物担当者と2～3か月に一回の実務者会議の実施			

分かる範囲でのご記入をおねがいたします。
例えば、倉庫として使用されている場所がある場合は、「倉庫」へ数値を計上してください。

中間処分場の記載をお願いいたします。

必ず、目標を記入した上で、ごみの減量等に取り組んでください。

(裏)

建築物名称 **〇×△株式会社 □□□ビル**

記入例

区分

種類

		前年度実績(○年4月から○年3月まで)				今年度計画(○年4月から○年3月まで)				対前年度(今年度計画-前年度実績)				
		発生量 (A)	処理区分 再利用率(B) 廃棄量(C)	再利用率 B÷A×100	発生量 (D)	処理区分 再利用率(E) 廃棄量(F)	再利用率 E÷D×100	発生量の増減 (D-A)	再利用率の増減 (E-B)	廃棄量の増減 (F-C)				
事業系廃棄物	可燃物	紙類	①コピー用紙・OA用紙等	10.8 t	10.8 t	t	100.0 %	10.3 t	10.3 t	t	100.0 %	-0.5 t	-0.5 t	0.0 t
			②機密文書(一括処理文書)等	3.8 t	3.8 t	t	100.0 %	3.6 t	3.6 t	t	100.0 %	-0.2 t	-0.2 t	0.0 t
			③雑誌・パンフレット・色付き紙	4.6 t	4.6 t	t	100.0 %	4.4 t	4.4 t	t	100.0 %	-0.2 t	-0.2 t	0.0 t
			④新聞紙・折り込みチラシ	2.6 t	2.6 t	t	100.0 %	2.5 t	2.5 t	t	100.0 %	-0.1 t	-0.1 t	0.0 t
			⑤段ボール	3.4 t	3.4 t	t	100.0 %	3.2 t	3.2 t	t	100.0 %	-0.2 t	-0.2 t	0.0 t
			⑥ミックスペーパー・シュレツダー	4.7 t	4.7 t	t	100.0 %	4.5 t	4.5 t	t	100.0 %	-0.2 t	-0.2 t	0.0 t
			⑦その他(紙ごみ等)	1.9 t	t	1.9 t	0.0 %	1.5 t	t	1.5 t	%	-0.4 t	0.0 t	-0.4 t
	紙類小計(①～⑦の計)		31.8 t	29.9 t	1.9 t	94.0 %	30.0 t	28.5 t	1.5 t	95.0 %	-1.8 t	-1.4 t	-0.4 t	
	その他	⑧厨芥(茶殻・残飯等の生ごみ)	5.2 t	3.6 t	1.6 t	69.2 %	5.0 t	3.6 t	1.4 t	72.0 %	-0.2 t	0.0 t	-0.2 t	
		⑨木・草・繊維等(①～⑧以外のもの)	1.2 t	t	1.2 t	0.0 %	1.0 t	t	1.0 t	%	-0.2 t	0.0 t	-0.2 t	
その他小計(⑧+⑨の計)		6.4 t	3.6 t	2.8 t	56.3 %	6.0 t	3.6 t	2.4 t	60.0 %	-0.4 t	0.0 t	-0.4 t		
(a) 可燃物 合計(①～⑨の合計)		38.2 t	33.5 t	4.7 t	87.7 %	36.0 t	32.1 t	3.9 t	89.2 %	-2.2 t	-1.4 t	-0.8 t		
不燃・焼却不適物	再生・利用物	⑩飲料用瓶類	0.9 t	0.9 t	t	100.0 %	0.9 t	0.9 t	t	100.0 %	0.0 t	0.0 t	0.0 t	
		⑪飲料用缶類	2.3 t	2.3 t	t	100.0 %	2.2 t	2.2 t	t	100.0 %	-0.1 t	-0.1 t	0.0 t	
		⑫ペットボトル	1.6 t	1.6 t	t	100.0 %	1.5 t	1.5 t	t	100.0 %	-0.1 t	-0.1 t	0.0 t	
		⑬食用油	0.8 t	0.8 t	t	100.0 %	0.8 t	0.8 t	t	100.0 %	0.0 t	0.0 t	0.0 t	
		⑭弁当ガラ	3.0 t	t	3.0 t	0.0 %	2.9 t	t	2.9 t	%	-0.1 t	0.0 t	-0.1 t	
	⑮ その他(廃プラスチック・金属等)	5.5 t	2.1 t	3.4 t	38.2 %	5.3 t	2.4 t	2.9 t	45.3 %	-0.2 t	0.3 t	-0.5 t		
(b) 不燃・焼却不適物 合計(⑩～⑮の合計)		14.1 t	7.7 t	6.4 t	54.6 %	13.6 t	7.8 t	5.8 t	57.4 %	-0.5 t	0.1 t	-0.6 t		
(c) 特定の事業活動に伴う可燃物		t	t	t	%	t	t	t	%	0.0 t	0.0 t	0.0 t		
総 合 計(a)+(b)+(c)		52.3 t	41.2 t	11.1 t	78.8 %	49.6 t	39.9 t	9.7 t	80.4 %	-2.7 t	-1.3 t	-1.4 t		

備考

- 1 数量については、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までの表示にしてください。
2 臨時に排出する粗大ごみ(什器類等)については、記載しないでください。

【記入要領】

- ①コピー用紙、上質紙、白い紙など。
※色付きOA紙は、「③」雑誌の欄に記入してください。
- ②年度で一括して廃棄している文書や機密性の高い書類で、通常の廃棄物処理とは別に溶解処理をしているもの。溶解処理をしているものは、全てリサイクルに回るので、発生量は、そのまま再利用率になります。
- ③雑誌、パンフレット、色付きOA紙など。
- ④新聞紙及び新聞の折り込みチラシ。
- ⑤段ボール。
- ⑥雑紙などミックスペーパーとして処理しているものや、シュレツダー屑以外は「⑦」に計上してください。詳細は、収集運搬業者に、必ず、確認を行なってください。
- ⑦汚れた紙(ティッシュなど)。ここは、全て廃棄されているので、再利用率は0%になります。
- ⑧生ごみ
- ⑨可燃物で、①～⑧以外のもの。
- ⑩～⑫ベンダー業者(自動販売機設置業者)が回収するものは、ここに計上しないでください。
- ⑬厨房などから発生した「食用油」
- ⑭「弁当ガラ」として一般廃棄物で収集する契約をしている場合のみ、こちらにご記入ください。その場合は、リサイクル処理が行われません。発生量が全て廃棄量となります。
- ⑮産業廃棄物の「廃プラスチック」、「ゴムくず」、「金属くず」、「ガラスくず」などの量を記入。
- ※特定の行の産業廃棄物：「木くず」、「繊維くず」など。

■ ごみ量の把握方法

収集運搬業者・区収集でも、自ら計量して量を把握することが基本です。

事業所から出るごみ袋やコンテナの1回分の量を確認し、排出した個数から算出してもかまいません。

実量に近い数値を知ることから始めましょう！

A. 収集運搬業者に委託している場合



業者に委ねているから、
量はわからないよ。



! Answer !

収集運搬業者は、ごみ量の把握が義務付けられています。
収集運搬業者にデータの提出を依頼して、再利用計画書に記入しましょう。
再利用計画書に記入してくれる業者もあります。その場合は、記入された内容を
しっかり確認するようにしてください。

B. 区収集にてごみ出し



ごみ処理券を買って出して
いるだけで、ごみ量まで把握
してないわ。



! Answer !

計量した合算数値を記入します。袋やコンテナの1回当たりの量を基準にして排
出した個数を掛けてもかまいません。
それが難しい場合、文京区 HP 内にごみ量換算表と、その換算数値を使う「お助
けシート」があるので、それらを利用して年間のごみ量を算出してください。

<文京区 HP>

ホーム>手続き・くらし > リサイクルとごみ>事業者の皆さまへ > 事業用建築物の所有者の方へ（提出書類等）>

大規模

> 事業用大規模建築物（延床面積 3,000 平方メートル以上）の所有者の方へ >

> ～有料ごみ処理券をご利用（区収集）の皆さまへ～ 再利用計画書お助けツール 内 >

> [ごみ量換算表](#)（PDF ファイル） を選択する。

> [再利用計画書お助けシート【パソコン入力用】](#) を選択する。

ホーム>手続き・くらし > リサイクルとごみ>事業者の皆さまへ > 事業用建築物の所有者の方へ（提出書類等）>

中規模

> 事業用中規模建築物（延床面積 1,000 平方メートル以上 3,000 平方メートル未満）の所有者の方へ >

> ～有料ごみ処理券をご利用（区収集）の皆さまへ～ 再利用計画書お助けツール 内

> [ごみ量換算表](#)（PDF ファイル） を選択する。

> [再利用計画書お助けシート【パソコン入力用】](#) を選択する。

【ごみ換算表のご案内】

※家庭から出たごみ量を含めた平均的な換算値です。

業種によっては数値が大きくかけ離れますのでできる

限り各事業所の換算値を出すようにしてください。

【お助けシートのご案内】

※項目ごと、その月使用した有料ごみ処理券の枚数を入力します。

※上記の換算表の数値が自動計算で入ります。

※処理にかかった項目ごとの費用、年間の費用も自動計算されます。

ごみ量換算表(区収集)

資料2

区にごみや資源の収集を依頼している等で、ごみの重量が把握できないときの換算値です。
再利用計画書作成の際にご利用ください。

分別区分			単 位	ごみ券 (シール)	重 量
資 源	古 紙	コピー用紙・OA用紙等	再生紙A4サイズ(厚さ10cm程度)	10リットル	4. 2kg
			再生紙B4サイズ(厚さ10cm程度)	10リットル	6. 2kg
		新聞紙	新聞紙(厚さ10cm程度)	10リットル	1. 89kg
			新聞紙(厚さ20cm程度)	20リットル	3. 78kg
		雑誌・パンフレット	週刊誌(厚さ10cm程度)	10リットル	3. 0kg
			パンフレット(厚さ10cm程度)	10リットル	7. 0kg
		ダンボール	みかん箱程度(2枚)	10リットル	1. 5kg
	飲料用びん		20リットル 1袋	20リットル	7. 2kg
	飲料用缶	スチール缶(45リットル 1袋)		45リットル	4. 6kg
		アルミ 缶(45リットル 1袋)		45リットル	1. 9kg
		スチール缶・アルミ缶混合 (45リットル 1袋)		45リットル	3. 25kg
	ペットボトル		45リットル 1袋	45リットル	1. 2kg
ご み	可燃ごみ、不燃ごみ	10 リットル 1袋		10リットル	1. 90kg
		20リットル 1袋		20リットル	3. 80kg
		45リットル 1袋		45リットル	8. 55kg
		70リットル 1袋		70リットル	13. 30kg
	シュレッダー屑	10 リットル 1袋		10リットル	0. 89kg
		20リットル 1袋		20リットル	1. 78kg
		45リットル 1袋		45リットル	4. 00kg
		70リットル 1袋		70リットル	6. 22kg

※ 各品目の重量は、あくまで概算値です。ごみの種類や、事業所の業態によって重量は変わりますので、
自らの事業所のごみを計量し、その平均を換算値とすることで、より正確に数値を出すことができます。

※ ごみ収集を一般廃棄物処理業者等に委託している場合、ごみ量は業者の処理量が基本です。

※ 飲料用缶及びペットボトルの重量は、つぶさずにそのまま袋にいれて計量した概算値です。



年度用 再利用計画書お助けシート【区収集用】

有料ごみ処理券の使用枚数から
ごみ量を推計するシートです！

	可燃	不燃	コピー紙	シュレツダー屑 ※1	新聞	雑誌	段ボール	ミックスペーパー 雑紙	びん	缶	ペットボトル
	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ
4月											
5月											
6月											
7月											
8月											
9月											
10月											
11月											
12月											
1月											
2月											
3月											
合計	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚
発生量	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
発生量 (t)	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
金額	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
年間金額											

①シールの種類を選択します！

まずはじめに、いつも貼付するシールの種類を、下の表を参考にして選択してください。選択部分にカーソルを当てクリックをするとプルダウン(マーカー)が表示されます。マーカーをクリックして選択してください。

シールの種類	記入 数値
70リットルシール	70
45リットルシール	45
20リットルシール	20
10リットルシール	10

②その月に使ったシールの枚数を記入してください。

【自動計算】
1年間のトータル枚数です。

【自動計算】
換算重量とシールの合計数を掛けます。

【自動計算】
kg⇒tにします。
この数値が再利用計画書に記入する
数値です。

小数点第2位を四捨五入するのが基本ですが、切り捨てるとゼロになる場合は、小数点第3位を四捨五入するようにしてください。

【自動計算】
一年間の廃棄物にかかった費用が出てきます。
ぜひ次年度は下回るよう、ごみ減量に努めましょう！

- 概算値である換算重量を計算式に利用した表です。
正しい数値を出すには、排出者が計量することが大切です。
- 換算重量は、別紙の「ごみ量換算表」を参考にしています。
コピー紙は「A4サイズ」、雑誌は「週刊誌」、
缶は「アルミ・スチール混合」の数値を計算式に使用しています。

※1 シュレツダー屑量を再利用計画書裏面に転記する際は「⑥ミックスペーパー」欄に記入してください。
区の収集に出すと廃棄となりますので、発生量と同量を廃棄量欄にご記入ください。シュレツダー屑は可燃ごみの日に出してください。



令和〇〇年度用
再利用計画書お助けシート【区収集用】

有料ごみ処理券の使用枚数から
ごみを推計するシートです！

①シールの種類を選択します！

まずはじめに、いつも貼付するシールの種類を、下の表を参考にして選択してください。選択部分にカーソルを当てクリックをするとプルダウン(▼マーク)が表示されます。▼マークをクリックして選択してください。

シールの種類	記入 数値
70リットルシール	70
45リットルシール	45
20リットルシール	20
10リットルシール	10

②その月に使ったシールの
枚数を記入してください。

	可燃 45 ℓ	不燃 45 ℓ	コピー紙 10 ℓ	シュレッター屑 ※1 45 ℓ	新聞 10 ℓ	雑誌 10 ℓ	段ボール 10 ℓ	ミックスペーパー 雑紙 10 ℓ	びん 45 ℓ	缶 45 ℓ	ペットボトル 45 ℓ
4月	16	4	8	8	2	2	8	2	1	1	2
5月	16	5	8	8	2	2		2	1	1	2
6月	12	3	8	8	2	2		2	1	1	2
7月	8	4	8	8	2	2		2	2	2	4
8月	16	4	4	8	2	2		4	2	2	4
9月	16	4	8	8	2	2	8	2	1	1	4
10月	16	4	8	8	2	2		2	1	1	2
11月	12	4	8	8	2	2		3	1	1	2
12月	16	4	12	16	2	2	4	4	3	8	4
1月	12	4	10	8	2	2	2	2	1	1	2
2月	16	4	6	8	2	2		2	1	1	2
3月	16	4	12	16	2	2	12	2	1	1	2
合計	172 枚	48 枚	100 枚	112 枚	24 枚	24 枚	34 枚	29 枚	16 枚	21 枚	32 枚
発生量	1470.6 kg	410.4 kg	420 kg	448 kg	45.36 kg	72 kg	51 kg	87 kg	259.2 kg	68.25 kg	38.4 kg
発生量 (t)	1.47 t	0.41 t	0.42 t	0.45 t	0.05 t	0.07 t	0.05 t	0.09 t	0.26 t	0.07 t	0.04 t
金額	58,824 円	16,416 円	7,600 円	38,304 円	1,824 円	1,824 円	2,584 円	2,204 円	5,472 円	7,182 円	10,944 円
年間金額	¥153,178										

【自動計算】
1年間のトータル枚数です。

【自動計算】
換算重量とシールの合計数を掛けます。

【自動計算】
kg⇒tにします。
この数値が再利用計画書に記入する
数値です。

小数点第2位を四捨五入するのが基本ですが、切り捨てるとゼロになる場合は、小数点第3位を四捨五入するようにしてください。

【自動計算】
一年間の廃棄物にかかった費用が出てきます。
ぜひ次年度は下回るよう、ごみ減量に努めましょう！

- 概算値である換算重量を計算式に利用した表です。
正しい数値を出すには、排出者が計量することが大切です。
- 換算重量は、別紙の「ごみ量換算表」を参考にしています。
コピー紙は「A4サイズ」、雑誌は「週刊誌」、
缶は「アルミ・スチール混合」の数値を計算式に使用しています。

※1 シュレッター屑量を再利用計画書裏面に転記する際は「⑥ミックスペーパー」欄に記入してください。
区の収集に出すと廃棄となりますので、発生量と同量を廃棄量欄にご記入ください。シュレッター屑は可燃ごみの日に出してください。